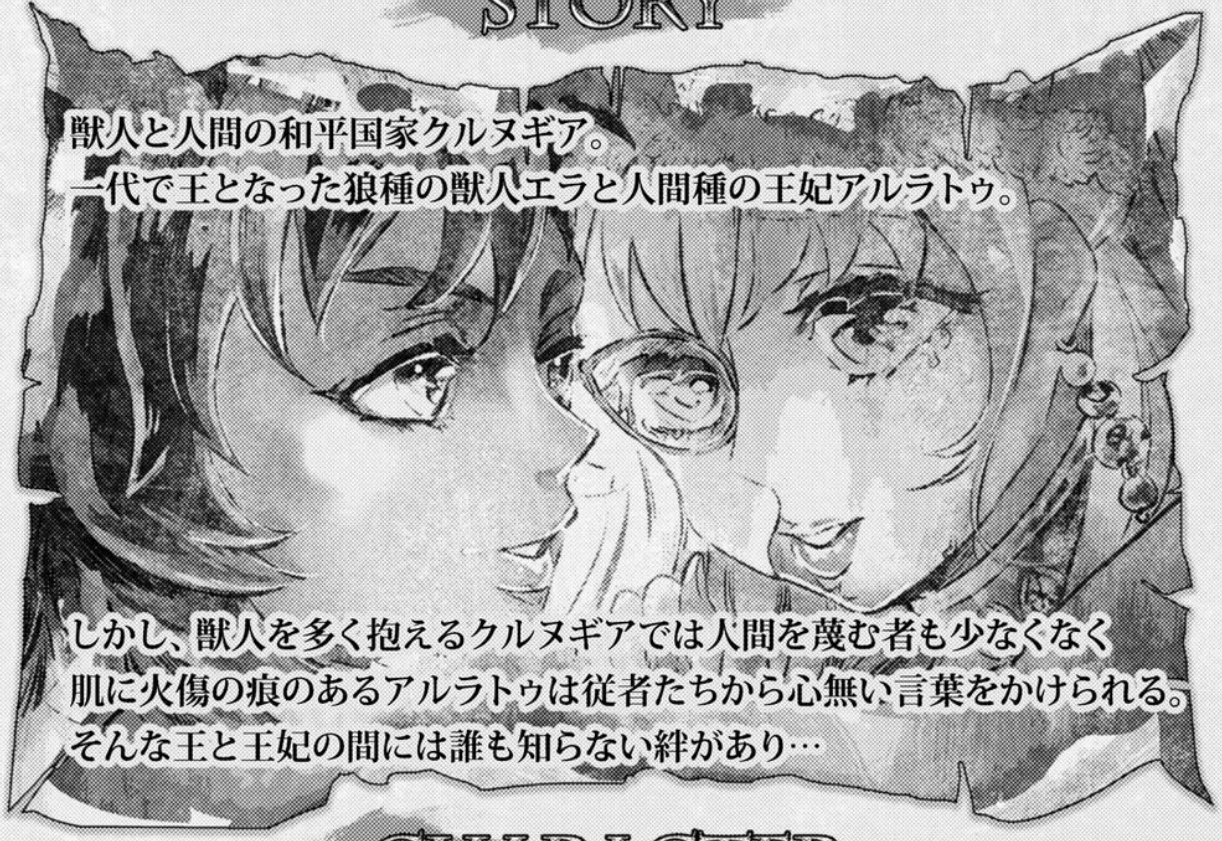

獣人王の愛
～傷の王妃は巨狼と番う～
成年
FOR ADULT ONLY
野生くずり
Kuzuri Noki


SERIES COMMENTARY
אג'ין: סיפור אהבה
דמי-אנושי
異類艶聞禄
異類艶聞禄
それは
ある日あるとき
ある国で
人と異類が
織り成す色恋話
その叢書である


SERIES COMMENTARY
古代魔法帝国
ニンガルの至宝
第一王女
アルラトゥ
先の戦いによる
火傷のため顔を隠し
王位継承者の座を追われ
奴隷の調教師に
身を落とした悲劇の姫は
獣人奴隷
エラ
彼と出会い
心を通わせ
『夫婦の託宣』を以て
二人で自由の身となり
遠い地で人と獣人の
和平国を築いた
それは
人と異類の悲願
理想郷であった
10年後

STORY



獣人と人間の和平国家クルヌギア。
一代で王となった狼種の獣人エラと人間種の王妃アルラトゥ。

しかし、獣人を多く抱えるクルヌギアでは人間を蔑む者も少なくなく
肌に火傷の痕のあるアルラトゥは従者たちから心無い言葉をかけられる。
そんな王と王妃の間には誰も知らない絆があり…

CHARACTER

エラ



狼獣人の王。
一代で国家を作るほどの力と人望を持つ。
獣人からも人間からも慕われている。

アルラトゥ



人間の王妃。
昔、戦で負傷したため、火傷の痕があり
後遺症で体が少し不自由。
獣人からは蔑まれ、疎まれている。

10年前のお話
がるまにcomics様『調教姫の恋～獣人奴隷は乙女を喰らう～』より

RACE



獣人（ウルマ）

人間、半獣、獣の形態を持ち、用途や感情に合わせて転身することができる種族。（『獣人（ウルマ）』は四つ足の毛皮を持つ者に限られるため鳥類や魚類などに転身する者も含めれば本来は『亜人（ウトゥック）』と呼ぶのが正しい。）
獣の種類に準じた腕力や機動力、感覚能力、寿命などを得ており、近しい分類の種族同士、または人間と交配可能。
所属する国の文化によって身分や扱いは異なるが、和平国であるクルヌギアなど比較的獣人が多数派の国では他種族（特に人間種）よりも優位で、高貴な種族であると自覚する者が多い。
番（つがい）という強固な生涯一夫一婦制の習性を持ち、その強制的な発情の促進と運命的な性質は『夫婦の託宣（アッシヤタア）』と呼ばれる。
但し、影響の大きさには個体差があり、より多く子孫を残したい場合など、顧みられない事例も見受けられる。



人間（アウィル）

一つの形態だけの種族で人間、人間種、人族などとも呼ばれる。（※作中の「ムクーヤー」は蔑称であり、公には憚られる呼び名。）
知能が高く、魔法を得意とし、手先が器用で道具や薬、嗜好品など様々な物を作る能力に秀で、人の要素を持つ他種族と交配可能。
大半の者が群れ、村や町を形成し、共同体の中で生きている。大きな都市を築くことも少なくない。
社会の中で階層を細かく分類する傾向が強く、下の階層の者や他種族を奴隷として従えることを一種の特権と考える性質がある。
一方で魔力が枯渇したときや道具を持たないとき、孤立した際、脆弱で身を守る術を持たず、他種族から敬遠される種族でもある。
配偶システムは多種多様だが稀に番の習性を持つ者も存在し、一般に認知されていないために正体不明の慕情に身を焦がす。


嫌われ者の
王妃様
無毛の人間種(ムクーヤー)
か弱い人間種(ムクーヤー)
爛れた皮膚でヨ～ロヨロ
お止め!!
キャッ
どこで
覚えたんだい
そんな歌!!
二度と歌うん
じゃない!!
ごめんな
さあい
人間種(アウィル)の友達が
嫌な気分に
なるだろう?
『ムクーヤ』は
バカにする意味が
強いから使っちゃダメ
うん…
それにあまり
王族を蔑むと
近衛兵に
目をつけられるよ
こわ～い
え～でも…
王様とっても優しい
じゃない…?
わかってないねぇ
王様は立派な
お方だけど
王妃様のことに
なると…


お気の毒に
王妃(ニン)付きになった？
ええ
おぞましい
あの爛れた肌！
伝染(うつ)りでもしたら…
下賤な人間種(ムクーヤー)
しかも年嵩(としかさ)の…
なぜ我が君は彼(か)の者をお迎えになられたのか…
アルラトゥ！


陛下（ルガル）
ん？
自ら梳（けず）っていたのか？
女官に任せればよいものを
母上（ウンマ）！！
……
私がやりたいのです


獣人と人間の和平国
「クルヌギア」
人間種の王妃
アルラトゥ
第1王子
ニンアズ
第2王子
デシュパク
狼種の王
エラ
小国でありながら
獣人の力と人間の魔力を併せる
強力な国家を1代で築く
が
ヒィィィィ…


お出ましだ
不快な王妃
化け物
下卑な人間種
和平国の象徴とはいえ
目障りなこと
おっと失敬！
ニャラ
ニャラ
陛下


何か
陛下への貢物（ニディトゥム）にございます
人間種の王妃だけでは王子二人がせいぜい
正当な狼種のお世継ぎを
どうか


さりか(そう)
よきぞ


おお！
やっと…
ご理解いただけましたか！


安心いたしましたぞ陛下！
やはり下卑な人間種に王族は務まらぬとかねがね…
ガッ!!
収めおけ
御意


ガタ
ガタ
ズッ
ズッ
ハッ
あれも？
いや
汝の主に伝へよ
貢物は
不要


ハァ…
ガブッ


くぅ
んがっ
くぅ
くぅ


陛下…


どう…
なされたの
ですか？
グル
グル
ハッ
グル
グル
ハッ
フーッ
フーッ
昂って
しまった…
フーッ


ヒヤッ
ヒヤッ
ヒヤッ


今は「エラ」
と…
アルラトゥ…
陛下…
エ…ラ…
この熱を…鎮めてくれるか
アルラトゥ


はい…！
あっはっ
ゆさっゆさっ
ズッ
ズリ
んんっ
はぁっ
パイヤッ
ぞくぞく
ぷちゃっぷちゃっ
っ!!
おにゃ
びくっ
パイヤッ
ズリッ♡ズリッ♡
びくっ
ん♡
ちゃ…
沢山…濡らさねば


んふっんっ
ぷっ
ぷっ
ぷ


教えて
やればいい
我らがどれほど
仲睦まじいか
そも
獣人は
そなたより
耳がいいゆえ
徒(いたづ)らな
足掻きよ


んっ♡
んんっ
ひっ♡
ハッ
ハッ
ハッ


ふるっ
ふるっ
ふるっ
ハッ
ハッ
ハッ


ふ…
ん…
エラ…
慈悲を…
おかしな
ことを言う
慈悲を
乞われるは…
そなたの方
だ…
ろうっ！


ズ!
ズッズッ
ぐっ
っ!
ズズ…
ビクッビクッ
ビュッ
ぐぐっ
あっ
あっっ


アルラトゥ…
すまぬ…!
あっ♡
あっあっ♡
パーン
パッ
腰が
止まらぬ…!
あぐっ♡


あはあっ
ズポッ
ズポッ
ふあっ♡
ブルブル
フーッ
ぐらぐらぐらぐら
エラッ♡
エラあああ♡
アルラ…トゥ
ズポッ
ひっ♡
んひい♡
バチッ
バチッ
バチッ
まんまん
ぷるっ
ぷるっ
びくっ
びくっ
びくっ
ぶるるっ


あ…
アルラトゥ!?
ぐらあ
はぁ
はぁ
はぁ
はっ
はっ
はー、
はー、
はー、
はー、


のぼせて
しまったか…
すまぬ…
ぬ
ぴっ
ぴっ
ちゅぽ…


ぺろ…
エラ…
ありが…と…
大分楽に…
…なった…
口調が「昔」に戻っているな
アルラトゥ様・


あの頃
俺は
敗戦国から
献上された
性奴(アシンヌ)
貴女は
調教師(エレシュ)
何もかも
貴女に
教わった
言葉
礼儀
作法


愛
好き
知ったような
ことを！
いこ
貴女が
いなければ
今の俺は
ない


アルラトゥ
エラ…
今っ…も…　昔も…
ちゅく
あ…♡
貴女は俺の
大事な女(ひと)だ
…エラも
あの頃から…
ずっと…
私の…
ちゅぱ


はぁっ
はぁっ
エラ…
もう…
ふっ
んっ
こんな…
焼け爛れた…
醜い肌…
あっ
はっ
かぷ
くりくり
コリ
きゅっ
あっ


夫が妻の肌を
愛おしんで
何が悪い


だが
どんな姿でも
あなたの
価値は
変わらない
それどころか
益々俺の中で
輝き続ける


確かに
魔法国家の
「戦魔姫」で
あった貴女は
戦いの中で
傷つき
地位を追われた
調教師として
俺と出会ったのも
そのため


美しいよ
アルラトゥ
……っ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ


はぁっ
ああっ
ふ…っ
ふっ
ふうっ
…っ
っ!!
あっ♡
っ♡
んんっ♡
ひっ♡
ふうっ♡


何時っ
抱いてもっ
ズッ!!
極上のっ…
躰っっ…!
ズッ
情けない…
すぐ…
箍が…
外れて
しまうっ…
ズッ


ぶんっ
ぐぐっ
ぐっ!!
ズるんっ
あっ…!?
はっ
ぬちゃ
はあ
無理を…
強いた…
ビクッ
ビクッ
はあっ
ビクッ
止め…
よう…か…
ザワ
ザワ
フッ
フッ
フッ


ポッポッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ
ハアッ


止め…
ない…で…


いいの…！
そのままの
エラを見せて
私の心も
変わらない
エラと結ばれ
正式な番となった
あの瞬間から
どれほどの
蔑みを誹りを
受けようと
私は——


貴方を
愛します
ザワッ
ザワッ
ザワッ
ザワッ


ペロペロ
ズッズッズッ
ああああっ!!


ゲルルルッ
ゲルッ
ウルルル
ゲルッ
ズーン
ズーン
ドッ
ドッ
ドッ


パンッ
ズッ
ひっ♡
おうっ♡
おおっ♡
パンッ
ズッ
んおうっ♡
グルル…
パンッ
ズッ
ヒッヒッ


あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
ポッ
ズッ
ズッ
オッ
グルッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
チカッ
チカッ
あ…
出て…
る…
ポッ
ポッ
ビュルルルル
ルルルル
ぶる
ぶる
グルル
アル…ラ…トゥ…
グル…
ドクッ
ドクッ


グルルルル
ふぁぁ♡
あはぁあ♡
ビュー
ビュッ
ビクッ
ま…だ…
ビクッ
あ…！
満ち…て…♡
ドクッ
ドクッ
ドクッ


あっ…？
あぁっ！
なっ♡
中でっ♡
ビクッ
ビクッ
ゴリッ
ドプッ
ドプッ
く…！
…ナん…
と…いう…
…快楽
ウゥ…
転身…ガ
解けヌ…
オグォオ
ンひっ♡
オォっ♡
コの姿デ…
果てル…
と…は…
すまぬ
アルラトゥ
エラ…
あぁ♡
いいの…♡
貴方の愛…
こんなに…
あはぁ…♡
幸…せ♡


アルラトゥ…
あなたの…愛…
こんなに…嬉…しい
ぺろ
ぺろ
私は
エラの…番(つがい)…
エラだけの…
しあ…
…わせ…


ザワ
ザワ
ザワ
あ…
…よく…
耐えて…
くれた…
ん…♡


まだ…
収まらん…
ふふ…
エラ
このまま
休みましょう


ありがとう
いつも
私を守って
くれて





獣人王の愛
～傷の王妃は巨狼と番う～

タイトル	「獣人王の愛～傷の王妃は巨狼と番う～」
発行/制作日	2022年 1月 22日
著者	野生 くずり
HP	https://kuzuri.wixsite.com/kuzurinoki

本書の無断転載及び無断複製物の譲渡、共有、配信など著作権法上での例外を除き固く禁じられています。


THANK YOU!
1000DL



シリーズ予告

古代魔法帝国ニンガル。次期王位継承者イナンナ姫は苛烈な性格で女暴君と呼ばれ母である女帝から冷遇される毎日に業を煮やし、無為な日々を過ごしていた。
性奴(アシンヌ)からも腫れ物のように扱われる中、樹人(イスウ)の男、ドゥムジッドは彼女に率直な言葉を投げかける。

――――「馬鹿すぎて溜め息が出ます。」――――

※上記内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。